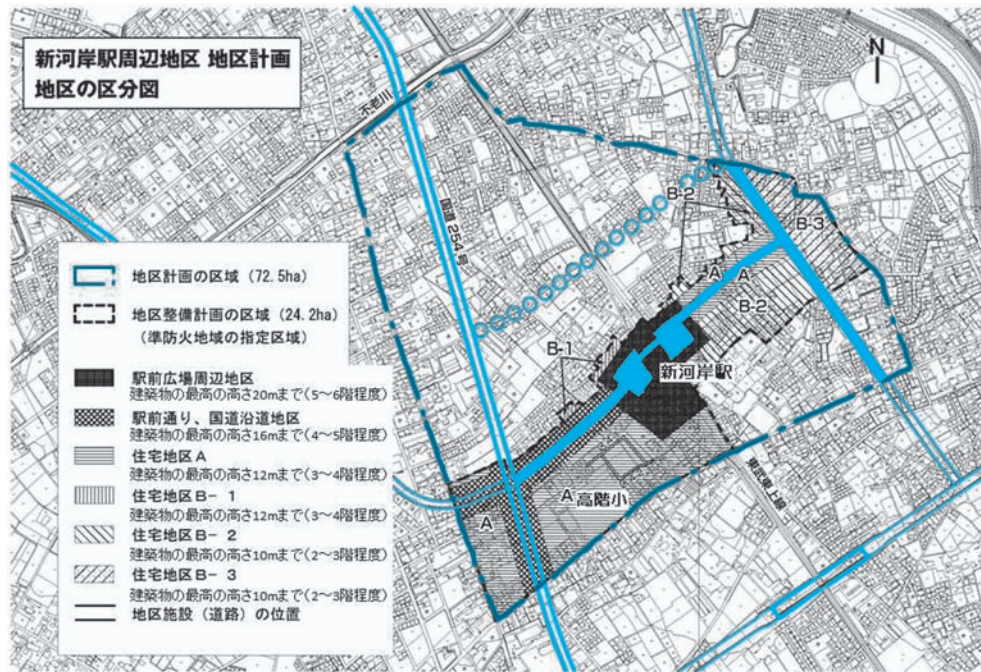


市長提出議案

12件の市長提出議案を審議しました。
結果は7ページの議決結果一覧表をご覧ください。



川越市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

条例の適用区域に新河岸駅周辺地区地区計画区域及び東田町地区地区計画区域を新たに追加します。また、罰金額の上限について20万円から50万円に引き上げます。
この条例の施行期日は一部を除き平成24年7月1日とします。

川越市学童保育室条例の一部を改正する条例

高階南学童保育室を「川越市藤原町18番地6」から「川越市諏訪町12番地3」に移転します。

条例の施行期日は一部を除き平成24年9月1日とします。

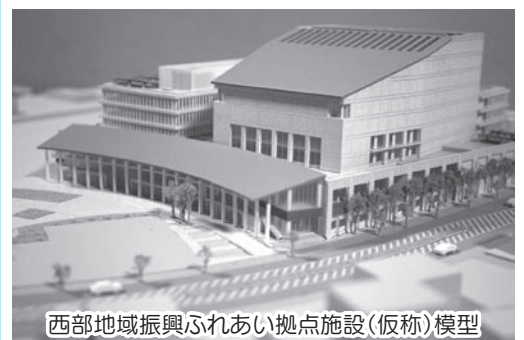
西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の建設に関する協定

- 工事場所：川越市新宿町1丁目17番地17
- 延床面積：全体 40,211.16㎡ 市施設 21,855.73㎡
- 構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造) 地上6階地下2階建
- 協定の金額：9,638,000,000円
- 協定の相手：埼玉県 埼玉県知事 上田清司
- 協定の期間：本協定締結の日から平成27年3月31日まで
- 市施設の概要

- 地下2階部分：駐車場等
- 地下1階部分：駐車場、防災備蓄倉庫等
- 1階部分：ホール、事務室、講座室、和室、実習室、喫茶室等
- 2階部分：ホール、事務室、活動室、音楽室、和室等
- 3階部分：ホール、活動室、相談室等
- 4・5階部分：ホール等
- 6階部分：電気室、機械室等

補正予算

- 埼玉県緊急雇用創出基金活用事業等に伴う補正で、主な事業の内容は次のとおりです。
- ・公共施設の整備更新計画、白書の策定補助
- ・美術館活動情報、収蔵作品情報整理委託
- ・労働基本調査委託
- ・建物現況調査委託
- ・中央図書館貸出用資料ICタグ貼付委託等



市政に関する 一般質問

今定例会では、22名の議員が一般質問を行いました。



会派名 議員氏名
一般質問の表題
質問の番
順

問

(質問の要約)

答 答弁者※

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

(答弁の要約)

※印の付いた答弁は
複数の答弁者の発言
をまとめたものです。

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

会議録の閲覧

【今定例会の会議録】

図書館等では8月下旬頃、
議会HPでは9月上旬頃、
閲覧できます。

【閲覧場所】
図書館/出張所/議会事務局
情報公開窓口(東庁舎)



P川越21 石川 智明 1
ごみ収集車乗員数は2名に

問 現在、川越市直営のごみ収集車乗員数は3名だが、民間や他市では2名乗車で収集を行っている。川越市も基本的に2名乗車で収集を行うべき。

答 環境部長 ごみの収集

運搬については、市民の毎日の生活に直接かわかることである。また、市民に不安を与えることのないよう、安全かつ確実にさらに安定した業務の

実施が求められる事業である。しかし、現在の社会情勢や市の厳しい財政状況から、効率的な収集を行い、経費の節減を図らなければならないものと考えている。特に、直営の業務の改善については、最も重要な課題と認識し、現在、検討を進めているところである。
市職員の残業削減
ごみ収集車乗員数



P川越21 小林 薫 2
特別秘書について

問 市長は私の携帯に3月19日夜「3月末日で植松特別秘書を解任したい」と電話してきたがこの意味は何だったのか。

答 市長 解任ではなく

「辞めてもらうことになりました」という言葉を使ったはずである。趣旨は解任と一緒にかもしれないが、後に本人から辞表が出るという可能性を含めての言葉である。

特別職の秘書を置く条例は昨年3月の定例会で承認を頂き制定した。特別職の市長秘書はこの条例に基づき私が任命し、職務の一つとして議員さんとの連絡調整などを行っていたので、辞めて頂くにあたり、各会派代表の議員さんへ連絡させて頂いた。

特別秘書



やまぎ 中 原 秀 文 3
情報化政策の計画策定

問 情報化政策の計画策定は、副市長を責任者として業務分析を行った上での全組織的な業務改善計画に基づいたシステム改革計画とする認識でよいか。

答 総務部長※ 情報化政

策を進めていくにあたり、市民サービスの向上と業務の効率化を高めることが重要と考えている。業務改善のために業務分析は必要であり、情報化政

策の計画の策定にあたっても前提になるものである。所管部署の意向を踏まえ、業務の在り方に合わせて、情報化政策の計画を策定していくものと考えている。現状では、事務管理委員会の委員長である副市長が計画策定を推進する責任者となると考えている。
民間にぎわい施設
川越市の情報化政策



やまぎ 倉 嶋 美 恵 子 4
協働で食育ショップ活用を

問 川越総合卸売市場に食育ショップがオープンした。第2土曜日に開いているが、市民も参加可能とするための協働ルール作成は可能であるか。

答 市民部長 「提案型協

働事業補助金」や「協働委託事業」で行っている「協働推進事業制度」以外にも、多くの協働事業がある。制度に基づかない協働事業を行う場合で、

あらかじめ市民と行政それぞれが協働の目的や役割分担などを明確にする場合には、必要に応じて協働のルールを盛り込んだ協定書等を取り交わすことが考えられる。

このことにより、互いに協働の意義を確認しながら協働を進めていくことが可能であるものとして認識している。
協働による食育推進



みんなの党 明ヶ戸 亮 太 5
民間との調整が不十分では

問 ピコアのオープンにより民間施設の収益減少が見込まれ、今事業は民業圧迫に繋がると考える。民間との事前調整が不十分だったのでないか。

答 市長※ 民間のスポー

ツ施設へは、アンケート調査や実施方針の説明会などを行うとともに、必要事項をホームページや広報川越などで公表してきた。

P i K O A は、都度利用ができることにより、気軽にスポーツをしたいと考えている市民の掘り起し効果もある。
P i K O A と民間施設が、お互いの特色を活かして、共存共栄が図られればと期待している。
防犯対策の強化
「われらの川越」
ピコアのオープン